



東小学校 2年4組 すずき はるかさん

毎年、病院祭「濟生会フェア」で地元小学校3校を対象にした絵画作品コンテストを開催、展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。今年度病院賞に輝いた絵をご紹介します。



理念 愛と希望

使命
濟生（国民の生を救うこと）の心のもとに医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地元の皆様に必要とされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力・信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県濟生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関する個人の情報を保護される権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。

地域医療構想における当院の考え方

院長 西田 保二

当院は濟生会が運営する公的病院として地域医療を担うと共に、「濟生」の精神に基づき低所得の方に対する無料低額診療や生活困窮者支援事業を行ってきました。

昭和49年に前橋市内利根川西岸地域の医療の充実を目的として、前橋市の医療整備計画に沿うかたちで現在の場所に移転し半世紀にわたり前橋市内西部、高崎市東部地域の中核病院として多くの入院、外来患者さんに専門的な診療を行い「地域になくってはならない病院」として責任を果たしてまいりました。

先日、地域医療構想を推進するための「再編統合を促す病院リスト」が厚生労働省から公表されました。地域医療構想は2025年に向けて二次医療圏ごとに効率的で不足のない医療提供体制を構築するために重要な検討課題です。

当院は、消化器がん県内3位、膵がん北関東1位、腹腔鏡手術数国内有数、急性心筋梗塞県内4位、糖尿病県内7位等の実績を誇っておりますが周産期医療、小児医療、脳卒中に対応していないことからリストに名前が掲載されました。このリストは厚生労働省が2017年の診療データを元に、医療圏ごとに「5疾病・5事業」を基本にして機械的に作成したものであり、いかに診療実績が優れていても、診療している疾病領域が近隣施設と重複している場合や、急性期以外の病棟を有していない場合、機械的にリストアップされます。

このため、当院の特色の一つである全国6番目の症例数を持つ白血病治療のほか、県中央部唯一の緩和ケア病棟の実績、多くの基礎疾患を持つ透析患者さんを受け入れ治療を行う腎疾患なども分析の対象外とされました。

群馬県内は二次医療圏が十か所に区分されていますが、前橋医療圏は公立、公的な大学病院、総合病院、専門病院が集まっていることや、医師数も北関東で突出して多い地区であることから県内から幅広く多くの高度専門医療を必要とする患者が流入し、医療レベルが極めて高い地域です。

また救急医療では前橋、高崎地域には高度な救急医療を必要とする患者さんを収容する3次救急を行う3病院があり、治療必要度に応じた輪番制による救急患者受け入れ態勢が構築され、当院でも利根川の西岸地区にある公的な病院として前橋市内はもとより、高崎東部、渋川方面からも年間2,200台を超える救急車を受け入れています。

これまでも地域医療構想を検討する前橋地域保健医療対策協議会で話し合いが行われ、前橋医療圏は他の医療圏からの患者流入が多い医療圏であることから当院を含め、今後も現在と変わらず急性期医療を提供する方針で検討が進められています。

厚生労働省からはリスト公表後に、改めて今回の分析だけでは判断しえない診療領域や地域の実情に関する知見も補いながら、地域医療構想調整会議の議論を活性化し議論を尽くし、2025年のあるべき姿に向けて必要な医療機能の見直しを行うことが大切であるとの方針も示されました。

最新のデータを用いて地域から求められる医療や、今後必要となることが予想される医療の適切な提供の妥当性を検証していくことが重要と考えております。

当院は、今後も高度な専門医療を提供する病院として医療を継続してまいりますのでご安心いただき、今後も引き続き当院をご利用いただきますようご案内申し上げます。

検査科

～現代医療に不可欠な臨床検査～

検査科 技師長 林 和 樹



皆さんが病院へ行くといろいろな検査を受けると思います。まず最初に採血や採尿を行い、その後に心電図検査や超音波検査などを受ける方も多いかと思います。医師は問診を行い、いろいろな検査の結果から最終的に病気の診断を行って治療方針を決定していきます。もし、この検査結果が無かったら現代医療は成り立ちません。根拠に基づく医療（EBM）が求められる現代医療において不可欠な臨床検査を行っているのが、当院ではA棟1FとC棟1Fにある臨床検査室です。

現在25名（男性9名、女性16名）の臨床検査技師が、それぞれの分野で専門的な技術や知識をもって日々の業務に当たっています。C棟1Fの中央検査室では患者さんから採取された血液や尿などを使って様々な分析を行っています。肝機能や腎機能を確認する生化学検査、肝炎ウイルスの感染状況やがん治療に重要な腫瘍マーカーなどの免疫学検査、安全な輸血を行うための輸血検査、細菌感染の原因菌の特定と

適切な抗生物質を使用するための微生物学検査などを行っています。また、A棟1Fの生理機能検査室では心臓の動きを確認する心電図検査、人間の耳には聞こえない高い周波数の音波を利用して体の中を観察する超音波検査、肺の呼吸状態を確認する呼吸機能検査などを行っています。これ以外にも採取された体の組織の中ががん細胞があるかを確認する病理・細胞診検査もA棟1Fで行っています。

平成29年の医療法の一部改正により、これまで明確な規制が無かった正しい検査結果が得られているかどうかの確認作業（検体検査の精度管理）について法制化されました。正しい検査結果を得るために必要な標準作業書や分析装置の点検内容など記録した測定作業日誌などの作成と保管が義務化され、全ての医療機関に整備が求められています。これからも患者さんに安心・安全な医療を提供していくために、われわれ臨床検査技師は検体検査の精度管理をしっかりとし責任を持って行っていきます。





病理検査と病理診断について

病理診断科 代表部長 柏原 賢治

シリーズ
部門紹介

当院を受診される皆さんは、病理検査や病理診断という言葉を見聞きされることがあるかと思いますが。ここでは、病理検査に携わるものとして少しお話を申し上げます。

昔は…と言っても、ほんの150年ほど前までのことですが、病気は、「もののけ」の仕業や「御霊」の祟りである、などと信じられていましたが、細胞病理学や細菌学をはじめ、医学の進歩により、今では生物学的に理解されるようになりました。

人のからだは多種多様な細胞で出来ており、それらが集まった組織、さらに消化管など特別な働きを担う器官としてまとめ、生命として安定した状態を保っています。しかし、細胞や組織、器官は「故障」「変質」することがあり、その程度が過ぎると、心身の不調を自覚したり、検診で異常を発見されたりして、病院などに来院されることとなります。

医師は診察と必要な検査を行い、病気の原因や治療の手立てを考えます。採血による臨床検査や、CTや超音波検査など画像医学が充実した結果、からだの内部で起こっていることを、大きな苦痛なくわかるようになりましたが、がんの診断や、腎臓などのからだの奥深くにある臓器の状態を知るには、生検といって、内視鏡の鉗子や針を刺して組織を採り、細胞を観察することが欠かせません。

ここから先が病理検査の出番です。

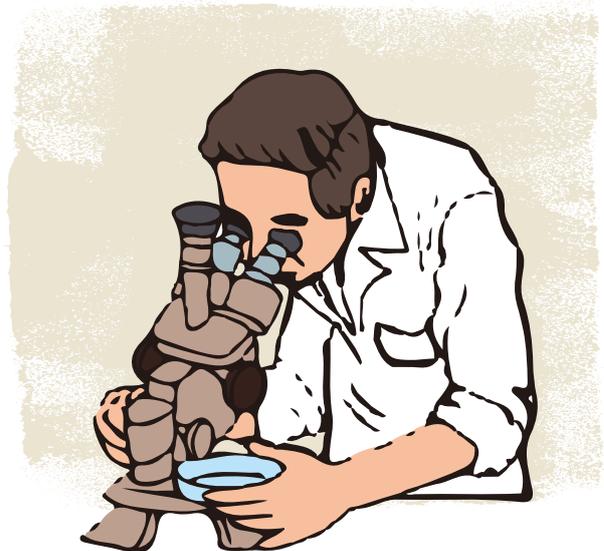
非常に小さな細胞や組織を顕微鏡で拡大し、見えるようにするには、光が細胞を通り抜ける数 μm の厚さに組織片を薄く削ぎ切り、染料で細胞を色付けした標本にします。標本作

成は、機械化しにくい仕事が多く、検査を担当する臨床検査技師の腕の見せどころです。

そして、病理医という専門の医師が標本を観察し、細胞や組織の形態の異常、つまり、正常な私たちとの違いを調べて、病変の有無や程度などを検討し、病理診断をします。

病理検査は、血液検査などに比べて結果が出るまで時間がかかります。当科では速やかに検査と診断を行い、診療に役立つよう努めておりますが、検査結果について医師から説明を受けるまでに検査後1週間から2週間ほどお待ちいただくことがあります。

病理診断は、病変を直接観察して行う「究極の診断」です。診断書には皆さんの診療のために大切なことが記されています。生検や手術を受けられた際は、病理検査の結果を医師にお尋ねになり、病理診断の内容をご確認されるようお願いいたします。



認知症看護認定看護師

認知症看護の原点を大切に



消化器・腎臓内科病棟
認知症看護認定看護師

主任
丹羽 里佳



我が国はどの国もこれまでに経験したことがない超高齢社会を迎え、それに伴い認知症の人も増加しています。

認知症の人は認知症症状により自己の健康管理が十分に出来ず、身体疾患を引き起こしたり、身体の変調を周囲に上手く伝えられず、状態が悪化してから入院となることが少なくありません。急性期病院においても、他疾患を合併して入院する認知症患者さんが増加し、どの科でも

認知症看護が必須となってきている現状です。

認知症看護は、認知症の人を一人の人として尊重し、その人の視点や立場に立って理解しケアする「パーソン・センタード・ケア」と言う考え方が原点にあります。認知症の人の尊厳を守り、さり気なく寄り添うことを大切に看護を行っています。認知症を患っていても必要な医療を受け、安心安全な入院生活を送ることが出来るよう支援していきます。

高齢者の安心できる生活環境作りを目指します



老人保健施設 あずま荘
認知症看護認定看護師

田村 三世子



日本は、老年人口と呼ばれる65歳以上の割合が25%を超え、4人に1人が高齢者という時代になりました。それに伴って要介護者が増加し、

「老老介護」「認認介護」「親子介護」等の問題が年々増加してきています。急な体調の変化や介護の問題によって長年住み慣れた家を離れて病院や施設に入院・入所を余儀なくされる高齢者も少なくありません。

私が勤務しております、あずま荘の利用者の多くは何らかの慢性疾患を持っている方で、認知症の方は8割を占めています。突然の環境の

変化や認知症があることで症状や苦痛を上手く伝えることが困難な方も多く、不安や混乱が容易に出現してしまいます。認知症看護認定看護師としての役割は、そのような認知症者の思いを理解し「認知症者」とひとくくりにししない各人に合ったケアを提供することです。

高齢者とそのご家族の気持ちに寄り添い、心身共に穏やかに安心できる生活・療養環境を多職種と連携して施設内や地域に貢献していきたいと考えています。

救急看護認定看護師

救急看護認定看護師として

～救急来院される患者さんを生活者として捉えて～



HCU
救急看護認定看護師

田中 淳也



救急外来を受診される方の多くは、急な症状に不安や苦痛を抱えて受診します。

治療の過程から、患者さんにご家族は仕事や家庭を持つ生活者であることを念頭に置き、多くの選択肢をご提案し、最良の選択を共に考えていければと思っています。

また、混雑した救急外来では診察までお待たせすることもあります。その中で、一刻を争う病気を抱えて受診される方もおられます。そう

いった方の“なにか変”という症状をいち早くキャッチし、円滑に診療が行えるよう、職種や領域の垣根を越えた質の高いチーム医療を提供できるよう活動してまいります。

有事の際の活動では、一人でも多くの方々の命を繋げられるよう、当院では訓練を重ねて地域の皆様が安心して暮らせるよう整えております。お困りの事などございましたらお気軽にお声がけください。



医療安全のとり組みについて

副看護部長 医療安全管理者 入沢 光美

当院では、患者さんやご家族が安心して安全な医療を受けていただくために、医療安全対策室が中心となって、安全な環境を整える事や医療事故の発生を未然に防ぐ事への対策を考え、組織横断的に医療安全活動を行っています。

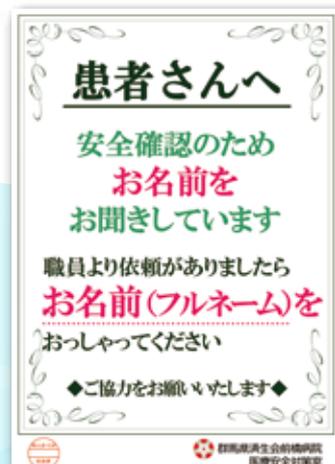
安全へのとり組みの一部をご紹介します。

病院にはたくさんの患者さんが来院されますが、同姓同名や類似したお名前の方がたくさんいらっしゃいます。患者さんのとり違い事故を防止するため、フルネーム（姓と名）を名乗っていただく事で、患者確認を確実にするという取り組みです。

誤った検査や治療が行われないように、または間違った書類やお薬が渡らないように、1日に何度もお名前をお聞きすることになります。お互い

に顔と名前を知っている関係であっても、フルネームで名乗っていただくようご協力をお願いいたします。

尚、患者サポート相談窓口では、診療、治療の相談のほか、医療安全に関するご相談にも対応しています。お気軽にご相談ください。



院内に掲示しているポスター

「将来の夢」応援します！
親子で参加！夏休み自由研究

病院探検 キッズ探検隊

小学生3年生から6年生までの親子を対象とした、夏休み自由研究「キッズ探検隊」を8月3日(土)に開催しました。病院の施設や職業に理解を深めてもらおうと企画し、今年で7回目です。県内外から60組の応募があり、抽選で30組の親子が参加しました。スタッフと同じスクラップに着替えたら3コースに分かれて体験スタート！各職種の「おしごと解説」が書かれた「カルテ」を持って、医師、看護師、コメディカルの仕事を体験しました。

医師のお仕事



看護師のお仕事



コメディカルのお仕事



放射線科



検査科



薬剤科



リハビリテーション科



臨床工学科



栄養科通信

～旬の食材メニューのお届け～



かぼちゃ入り♪

とうふ白玉



★かぼちゃには免疫機能を高めるβ-カロテンや細胞の老化を防ぐビタミンEが豊富に含まれています。

栄養価(1人前)

エネルギー	たんぱく質	脂質	塩分
123kcal	3.7g	1.6g	0g

●材料(4人分)●

- ・かぼちゃ 50g
- ・白玉粉 60g
- ・絹ごし豆腐 50g
- ・ゆであずき(砂糖入) 60g
- ・きな粉 15g

●作り方●

- ①白玉をゆでるお湯を沸かしておく。
- ②かぼちゃの皮をむき、種を取って適当な大きさに切る。ラップをして柔らかくなるまでレンジにかける。柔らかくなったら水気を切り、熱いうちに潰す。
- ③白玉粉、かぼちゃ、豆腐をよく混ぜ、耳たぶくらいの固さにする。
*白玉粉の大きな塊はあらかじめ潰しておく。
*固い場合は水を入れ固さを調節する。
- ④沸騰したお湯に食べやすい大きさに丸めた白玉を入れ、浮き上がってきたら冷水に取る。
- ⑤皿に白玉とゆであずきを盛り、きな粉をかけてできあがり。

登録医紹介

※当院は地域の先生方と協力して診療をおこなっています



さるきクリニック

- 院長** 猿木 和久
- 住所** 前橋市青梨子町178
- 電話** 027-210-7171
- 診療科** 泌尿器科、内科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30	院長	院長	院長	/	院長	/	/
15:00~18:00	院長	富澤	院長	/	院長	※	/
18:00~20:00	/	/	※	/	/	/	/

※水曜日(18:00~20:00)：第1・3・5日赤、第2・4群大
 ※土曜日(15:00~18:00)：第1・3群大、第5日赤、第2・4院長
 *先生のスケジュールにより変動することがございます

医院紹介 「泌尿器科・内科」を診療科目に、地域に根ざした医療サービスを行っております。小さいクリニックですが、大病院に負けない医療水準を保ち、小さいからこそ出来る一人一人に応じたきめ細やかな医療サービスの提供を心がけております。小さくても安心、小さいからこそ快適、そんなクリニックであるように努めております。



公益財団法人 老年病研究所附属病院

- 理事長** 高玉 真光
- 住所** 前橋市大友町3-26-8
- 電話** 027-253-3311
- 診療科** 内科、脳神経外科、整形外科、脳神経内科、眼科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科、循環器内科、リウマチ科、消化器科、泌尿器科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科



受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:00~11:30	○	○	○	○	○	~11:00	/
13:00~16:00	○	○	○	○	○	/	/

★診療科によって受付時間が異なりますので、お問い合わせください
 【診療時間】8:30~18:00
 【休診日】第2・4土曜（歯科のみ毎週土曜午前診察）
 日曜祝日
 第1・3・5土曜は午後休診

病院紹介 主に脳神経内科、脳神経外科、整形外科、内科、循環器内科、眼科の診療を行い、治療目的の急性期病棟と、在宅復帰を目指す回復期リハビリテーション病棟を備えております。また、県より認知症疾患センターの指定を受けて認知症の鑑別診断、専門医療相談などに対応しております。保健、医療、福祉のネットワーク作りにより急性期から回復期、在宅医療までサポートしてまいります。

リーフレットコーナーのご案内

正面玄関を入り地域連携課の隣にリーフレットコーナーを設置しています。

当院の地域医療連携登録医となっていたいただいた医科、歯科の先生方のなかで、承諾をいただいた約300か所の施設のリーフレットを設置しています。「自宅近くのかかりつけ医を探している」「専門治療を行っているクリニックを知りたい」など、医療機関をお探しの際はぜひご利用ください。ご不明な点は地域連携課スタッフがお手伝いさせていただきますのでお気軽にお声がけください。



外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
第1・3土曜日の午後は休診となります。

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制
【午後】完全予約制

2019年10月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合 外来(初診)	9:00 10:30 10:30 12:00	福田	荻原	池田	佐倉	交替制	交替制
	午前	星野			高田	初見	
血液内科	午後		佐倉・高田・初見 星野・飯野・松村	佐倉			
腎臓	午前	馬場	高梨	三島			
リウマチ内科	午後	長又				三島・長又(第1・3・5)	
内分泌・ 糖尿病内科	午前					荻原	荻原
	午後	荻原		青木*	荻原		
呼吸器内科	午前				久田*(第3休診)		岡山*
	午後			牧元*・岩崎*		岡山*(第2)	
消化器内科	午前		【肝臓】畑中 【胆・膵】樋口	【胆・膵】 吉永・吉田・樋口	【大腸】 蜂巢	【胆・膵】交替制 【肝臓】齋藤	
	午後			【大腸】家崎* 【肝臓】橋爪*(第1・3・5) 大山*(第2・4)	畑中・齋藤 高木*(第1・3)		
循環器内科	午前	池田・直田 舘野	中野・福田 戸島	中野・福田 戸島	中野・土屋 舘野	池田・土屋 【睡眠障害外来】福田(第5休診)	交替制 (福田・池田)
	午後	【禁煙外来】 池田		【ペースメーカー外来】池田 【弁膜症・先天性心疾患外来】舘野		直田	
外科	午前	藍原・松村 大木	細内・和田 【乳腺外来】鈴木	西田・松村 【ヘルニア外来】藍原	細内・大木 西川 【食道外来】鈴木	細内・和田 西川	交替制
	緩和ケア外来	午前				細内	
呼吸器外科	午前		茂木			茂木	
整形外科 《完全予約制》	午前	後藤 長谷川	中島 大沢	中島 津久井	長谷川 大沢	後藤 津久井	第1:中島・長谷川 【脊椎】井野* 第3:後藤・大沢
リハビリテーション科	午前	白倉	白倉・金谷	金谷	白倉・金谷	白倉・金谷	
心臓血管外科	午前/午後			石山*			
小児科	午前/午後					【循環器】鈴木*(第1・3・5)	
眼科	午前	荻原*	中村	福地*・中村	岸*・中村	中村	交替制*
泌尿器科	午前	鈴木*					
麻酔科 ペインクリニック 《完全予約制》	午前			〈再診〉 吉田・中島	〈再診〉 吉田・中島	〈初診〉 吉田・中島	
緩和ケア内科 《完全予約制》	午後		平山		平山		

【*：非常勤医師】

交通のご案内

- *新前橋駅よりタクシーで10分
- *前橋駅よりバスで20分
- *高崎駅よりバスで40分

*前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。



上信バス時刻表案内
(済生会前橋病院発着予定時刻表)
2015年4月1日改正
新前橋駅前停留所
中央前橋駅前停留所
高崎駅前停留所

行先	前橋駅前	新前橋駅前	高崎駅前
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16	32		10
17	05		08 40
18		01 34	18
19	09 59		25 45
20			06

印：土日祝日は運休 印：土日祝日のみ運行

お問い合わせ

☎027-252-6011(代)

紹介状をお持ちの方は、事前予約（内科総合外来以外）をお願い致します。地域連携課 TEL:027-252-1751(直通)

- 患者さんへ ●前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
●人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959 (直通)

- 介護関連 ●入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘
☎027-254-0108
●前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援センターあずま荘
●介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘
☎027-255-1511